

家畜衛生情報

酪農場における 牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD) の清浄化対策のご案内

今年4月以降、長野県内でBVDウイルスが関与した流産が発生しました。そこで、下記のと通りの清浄化対策を実施します。BVD-MDによる被害をなくすため、当対策への積極的な参加をお願いします。

対象農場：酪農場でPI牛を摘発・淘汰する意向のある農場

検査方法：バルク乳の遺伝子検査

バルク乳検査によりPI牛*（持続感染牛）が農場にいる疑いがある場合は農場の全頭検査

手数料：バルク乳検査は1,500円、全頭検査は検査頭数による

（本対策の詳細は管轄の家保へお問い合わせください）

*PI牛とは、一生涯にわたり唾液、鼻汁、糞便、尿、乳汁、精液などからBVDウイルスを排出し続け、感染源になっている牛のこと

牛ウイルス性下痢・粘膜病とは

- BVDウイルスに感染すると、発育不良、下痢、呼吸器症状を呈するほか、妊娠牛が感染すると奇形、流産、不受胎等の繁殖障害を引き起こす場合があります。
- 母体内でウイルスに感染した胎子は、産まれても先天異常、発育不良のほか、一部の牛ではPI牛になります。
- PI牛が、粘膜部にび爛、潰瘍等の粘膜病を発症した場合、死亡率は高くなります。

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439
上田支所	0268-23-1630	松本	0263-47-3223
伊那	0265-72-2782	長野	026-226-0923
県庁園芸畜産課	026-235-7232		

ご相談・お問い合わせはこちらへ